

デクセリアルズ株式会社

製品名:D3450

[会社整理番号 : F-777]

作成日 : 2009年10月27日

改訂日 : 2022年08月26日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 **D3450** (感熱性接着テープ)
会社名 デクセリアルズ株式会社
住所 〒323-0194 栃木県下野市下坪山 1724
電話 0285-39-7950 FAX 0285-47-3242

2. 危険有害性の要約

<危険有害性の分類>

該当しない

<緊急事態の概要>

この製品を熱接着する際に、製品に含まれる残留溶剤等がフュームやガスとなる恐れがある。

適切な換気設備を導入し、フュームやガスを吸入しないようにする。

接着剤面に直接接触すると刺激を起こす場合がある。

製品に含まれるエポキシ樹脂により皮膚感作を起こすことがある。

<健康への影響>

皮膚および眼への接触 : 接着剤面に直接接触すると刺激又は皮膚感作性を起こすことがある。

摂取/吸入 : 熱接着時に発生する恐れのあるフュームやガスは皮膚、目及び喉を刺激する。

慢性影響/発癌性 : 製品としては知見なし。
エポキシ樹脂は変異原性テストにおいて陽性と報告されている。

3. 組成、成分情報

<成分> (重量%)

1. 剥離紙

成分	CAS #	含有量
シリコーン処理離型紙	該当せず	100%

2. 接着層

成分	CAS #	含有量
合成ゴム	企業秘	70~80%
エポキシ樹脂	企業秘	1~10%
硬化剤	企業秘	10~20%

3. 剥離フィルム

成分	CAS #	含有量
シリコーン処理ポリエチレンテレフタレートフィルム	25038-59-9 (PETとして)	100%

4. 応急処置

- 吸入した場合 : フィルム状(固体)で供給しているため、実際に吸入される事はない。
- 眼に入った場合 : 眼に接触した場合は、直ちに大量の水ですすぎ流す。痛みや刺激が継続する様であれば、医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 大量の水で洗い流す。石鹼があれば使用する。刺激が残るようであれば、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : フィルム状(固体)で供給しているため、実際に飲み込む事はない。

5. 火災時の措置

<消火剤>

水、炭酸ガス、粉末、泡等を用いて消火する。

<使ってはならない消火剤>

特になし

<消火方法>

陽圧自給式呼吸器をつけ、保護着を着用して皮膚や眼への接触を防ぐ。

火災現場からすみやかに人を避難させ、安全な距離から消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

フィルム状(固体)で供給しているので、漏出することはない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

< 取扱い >

保護手袋を着用しないで直接、接着剤面に触れてはいけない。

熱接着する際には、蒸気を吸入しない様に換気の良い場所で取り扱う。

< 保管 >

強酸や強い酸化剤との接触を避け、低湿の冷暗所に保管する。

8. ばく露防止措置及び保護措置

< 設備対策 >

製品が熱接着される作業場所では、適切な換気設備を導入しなければならない。

< 保護具 >

保護手袋: 直接製品に触れると刺激がある為に、適切な手袋を着用する。

保護眼鏡: 製品の端で眼を傷つけない為に、適切な安全眼鏡が必要である。

< ばく露基準 >

製品としてデータなし

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 接着テープ
色	: 白色
臭い	: 無臭
沸点	: 該当しない
蒸気圧	: 該当しない
融点	: 該当しない
水溶性	: 不溶
比重	: 1.1 (接着剤)

10. 安定性及び反応性

< 化学的安定性 >

通常の手扱い条件では安定。

< 混合と接触を避けるべき物質 >

強酸や強い酸化剤との接触を避ける。

< 危険な分解生成物 >

一酸化炭素、二酸化炭素、一酸化窒素

< 危険な重合 >

起こらない。

11. 有害性情報

製品として、

急性毒性: 情報なし

慢性毒性: 情報なし

毒性データ: データなし

エポキシ樹脂として、

急性毒性: 刺激性、皮膚感作性

慢性毒性: 知見なし

毒性データ: 経口ラット LD₅₀>2000 mg/kg

経皮ラビット LD₅₀>2000 mg/kg

12. 環境影響情報

<生態毒性>

知見なし

<その他の有害影響>

知見なし

13. 廃棄上の注意

都道府県条令に基づき処理するか、廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連NO. : リスト記載なし

国際機関による分類 : 該当なし

15. 適用法令

化審法 : 製品に該当する

労働安全衛生法 : 変異原性化学物質含有

毒劇法 : 該当なし

PRTR法 : 該当なし

輸出貿易管理令 : キャッチオール規制対象品

16. その他の情報

引用文献等 : 原材料メーカーのSDS

ここに掲載した情報は、本製品に限定して当社が最善をつくして集めたものを提供しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。取扱い方法は、一般的に妥当とされているものを記載しております。ユーザーの責任において、個々の用途に照らして取扱い方法を検討してください。

このSDSは、新しい知見により改訂される事がありますので、当社営業部門に最新版のSDSを請求していただくことをお勧めします。

以上